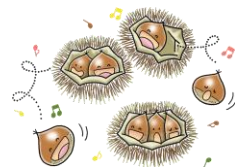


加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和7年
10月31日
No.14



授業参観・加太小教育懇談会へのご参加ありがとうございました

秋が深まり寒さを感じ始める頃となりました。昨日は、授業参観・加太小教育懇談会に多数ご参加いただきありがとうございました。子どもたち向けにお話をいただきましたが、私たち大人も相手に届く言葉を使うことの大切さを学ぶことができました。子どもたちもお話を聞いて感じたことをしっかりと振り返りカードに書いていました。ご家庭でもお子さんと一緒に言葉について考えるきっかけにいただけたらと思います。



「褒めること」と「認めること」の違いは？

大人が子どもを「褒める」ときは、大人の基準や水準で「褒める」ことが多いように思われます。反対に言えば、水準に達しない場合は、「頑張りなさい」と叱咤激励することはあっても、褒めることは稀です。それに対して、子どもが「認めてもらいたい」ときというのは、子どもの基準や水準で「褒められたい」のではないのでしょうか。子どもなりに努力したり工夫したりしたことを「認められたい」のです。だから、大人の考えた基準に達していなくても「褒めてほしい」と考えるのです。

～文部科学省 国立教育政策研究所 調査研究報告書より～

褒めて育てるという発想よりも認められて育つという発想の方が、子どもの自信が持続しやすいとも言われています。子ども自身ががんばったことを「子どもの基準で」具体的に認めてあげることを常に心にとめていきたいと思います。

養護教諭による食育の授業が行われました



先日、養護教諭が全校児童を対象に食べ物を大切にする心について考える食育の授業を行いました。全員が共通体験をしている米作りについて考える中で、自分たちがおもちを食べるためには、田んぼの管理や水路掃除、収穫、運搬などそれまでに多くの人々が関わっていることを振り返らせました。また、もち米だけでなく、魚や野菜などもたくさんの生き物や人のおかげで食事をとることができることにも気づかせ、「いただきます」や「ごちそうさま」は、感謝する気持ちが込められている言葉だということを学習しました。

学習後、子どもたちは、「苦手な食べ物も食べる」「テレビを見たりマンガを読んだりしながら食べない」「決められた時間に味わって食べる」「よくかむ」「いただきますやごちそうさまを気持ちをこめて言う」などと、自分がかんばることを宣言しました。今後も、食べ物を大事にする感謝の心を身につけていってほしいと思います。





10月の学校風景

学校ホームページでも、子どもたちの学校生活の様子がご覧いただけます。

【1・2年 さつまいもほり】

地域の方と一緒にさつまいもをほりました。大きくてきれいなさつまいもがたくさんとれ、子どもたちは、大喜びでした。



【4・5年 社会見学】

四日市港ポートビルと味の素東海工場に見学に行きました。実際に見たり体験したりすることでより理解が深まりました。



【3年 警察署・消防署見学】

少人数ということもあり、通常の見学コースではない場所も見学させていただいたり、体験したりすることができました。



【全校 ロング昼休みに異学年交流】

今回のロング昼休みは、3・4年生が考えた「門番おにごっこ」を全校でしました。そして、他学年からは、3・4年生へありがたいのメッセージを送りました。



【1・4・5年 図書館活用アドバイザーによる授業】

読書は、小学生の精神的な発達に良い影響を与えてくれます。特に、小学生時代に物語を読むことは、想像力がつき、豊かな心を育てることにつながります。読書の秋。たくさんの本に親しんでほしいと思います。

1年生：昔話や世界のお話を读もう



4年生：みんなで同じ物語を读もう



5年生：学習年鑑を使ってみよう



【お知らせ】

☆行事予定について

これまで各学年の学年通信で毎月の行事についてお知らせしていましたが、11月からは、学校で一本化し、学校からお渡ししている下校時刻表に行事予定を記載することにしました。つながる連絡システムでも通知させていただきますので、ご確認の程、よろしくお願いします。

☆もちつき体験について

11月28日(金)3限～4限にもちつき体験をします。5年生は、お世話になった地域の方も招待して、一緒に試食します。詳細は、後日お知らせします。